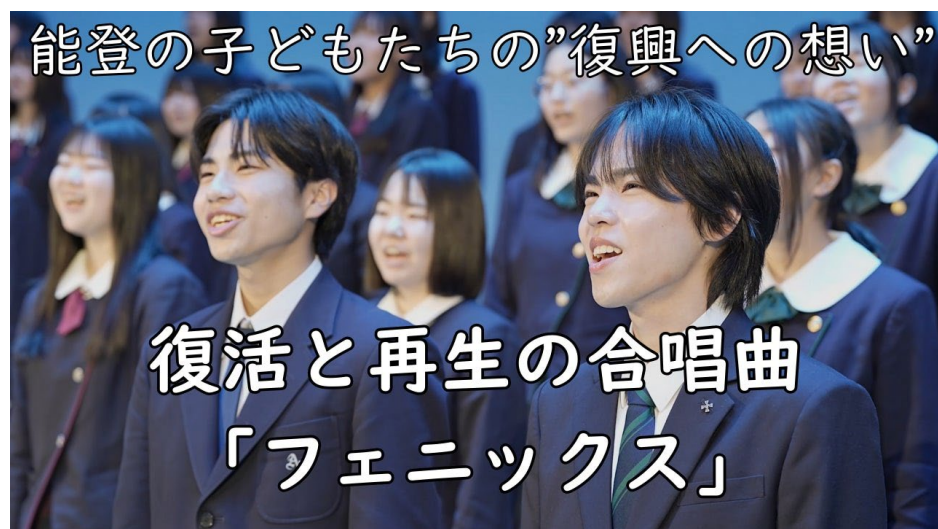


報道関係者各位

【能登】子どもたちの"復興への想い"から生まれた合唱曲『フェニックス』が完成。

5月14日（水）輪島高校にて、全校生徒250名と近隣の小学生が合唱を披露。全国を歌で繋ぐキックオフ開催

能登の小中学校・高校（7校）を訪問して集めた「復興への想い」を合唱曲に。



↑こちらからご視聴いただけます

5月14日（水）輪島高校にて、合唱曲「フェニックス」を全国へ発信を行っていくにあたってのキックオフイベントを実施いたします。イベントでは、全国の合唱団から届いた「能登へのメッセージ&合唱ビデオ」の放映とともに「フェニックス」の合唱を披露するほか、茨城県つくば市の中学校とオンラインでつながり、交流を実施します。※ 当日の様子を地元映像作家さんに4K撮影していただき、映像素材をご提供いたします。

キックオフイベント概要

日時：5月14日（水）13:15～14:05（50分間）

場所：輪島高校 第二体育館

内容：高校生・小学生による、復興と再生の歌「フェニックス」の合唱と動画撮影

※ 地元映像作家さんに4Kで撮影していただき、映像素材をご提供いたします。

この日に合わせて、全国の合唱団から届いた「能登へのメッセージ&合唱ビデオ」を大きなスクリーンに映しながら、共に歌い、動画を撮影し、発信します。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

NPO 法人 MBFC 担当：弓削田健介

電話：090-9600-1823（なんでもお問い合わせください）

Mail：yugemusic@yahoo.co.jp

ぜひ取材にお越しください。

能登7校から集まった「復興への想い」

能登の小中学校/高校を訪問しながら（宝立小学校・穴水小学校・松波小学校・輪島合同6校・門前中学校・輪島高校・七尾高校）子どもたちから300以上の「復興への想い」をあずかり、合唱曲「フェニックス」が生まれました。



7つの小中学校/高校で実施した「復興のメッセージ」を集める活動。

ながおかの こどもたちに おへんじを かこう

かしをよんだかんそう こんなうたをつくってほしい など
何度たうて しごとく 復興します。
2回も災害を受けるくらい不運だけど 復興は止まらない。
元日歌、^{どうし}関志がなるような歌

ながおかの こどもたちに おへんじを かこう

あきらめない心を大切はうと思います。
いつか きっと いい事あると信じて
前を向いていきます。

ながおかの こどもたちに おへんじを かこう

いつか、フェニックスの曲が完成したら、
一緒に歌おう

ながおかの こどもたちに おへんじを かこう

心配や復興を願うたくさんの方のメッセージありやうございました。
今、能登は大きなことも多いですが、確実に recovery
前に進んでいます。教わってきたらぜひ一緒に歌いましょう!!
私も大歓迎です!

企画者

弓削田健介（ゆげたけんすけ）合唱作曲家。NPO 法人 MBFC 代表。

主に小中学生が歌う合唱曲を作曲。2020 年より音楽の教科書に楽曲が掲載（小学校4年生・中学校2年生 教育芸術社）。キャンピングカーを拠点に合唱曲が歌われている日本全国の小中学校、海外日本人学校などで2000回を超えるスクールコンサートを行う。

旅から得た気づき、出会いと感動を元に作曲するスタイルで、5冊の楽譜集と絵本を出版。

NHK 全国放送（おはよう日本）、国際ニュース NHK ワールド、朝日系列テレメンタリー、TOYOTA コレカラプロジェクトなど、多数のテレビ出演をきっかけに、「放浪の合唱作曲家」と呼ばれる。福岡県出身。